



事務所 伊那市西町5016-2 ☎(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 ☎(78)1121  
 会長 藤澤秀敬 幹事 平澤泰斗 会報委員長 唐木 章 第2775回例会 2017.3.23 No.1438



### Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016-17年度 RI 会長テーマ

**ソング** それでこそロータリー

**健康タイム** 講師 三澤清美会員

**ビジター・ゲスト紹介** 伊那西高等学校校長 出野憲司様

#### 会長談話

先の日曜日 12日は辰野パークホテル  
 での上伊那グループ IM に多くの皆さん  
 のご参加ありがとうございました。昨  
 年、小林孝行ガバナーの招集によりフラ  
 ワーパレスで開催でしたが、あれからもう一年が経過  
 したわけでありす。

参加された原ガバナーは晴れ晴れしたご様子であり  
 ました。前の週に下伊那グループの IM があり、上伊那  
 が県下で最終の IM とのことです。あといくつか  
 の周年事業・式典が残っているものの、すでに 2600  
 地区は次期チームが動き出している原ガバナーは最後  
 のとりまとめをゆったりといった印象でありました。

伊那クラブも同様で、18日(土)～19日(日)立石会長  
 エレクトが、PETS(エレクトセミナー)に参加してい  
 ます。後ほどご報告があります。次期の皆さんだんだ  
 んご苦労様です。

さて、先週木曜日高熱が出まして、インフルエンザ  
 にかかってしまいました。お医者さんと、検査後イナ  
 ビルという薬を吸入して、あとは家で寝ていました。  
 インフルと診断される前日、水曜日は「花粉症が今  
 日はつらいな」程度に思っていたので、家族ほとんど  
 全員にうつしてしまいました。おかげで春分の日の連  
 休は皆揃ってじっと自宅待機でした。

訪問営業の人にインターホンで「インフルエンザで  
 すが・・・」というので、すぐに帰ってくれました。

去年11月インフルの予防接種をしましたが効果が  
 あったのかどうか、軽く済んだのかもかもしれません。

皆様もマスクを着用して風邪やインフルをうつされ  
 ないよう、また手をよく洗うこと、ビタミンCを含む

ミカンなど食べたり、睡眠不足にならないようよく休  
 むことが大切のようです。お気を付けください。

最後に一つお知らせです。伊那RCのホームページ  
 が見られるようになっていました。検索エンジンで「伊  
 那ロータリークラブ」でヒットします。

スマホでも見られるようにしてあります。今後細か  
 いところの調整をしながら整えてまいりたいと思いま  
 す。行事予定や会報など見れるようになっていました。

今のところ一般に公開できる範囲ですが、あと  
 会員ページに幹事報告なども掲載したいと思いま  
 す。ご感想をお聞かせください。

**幹事報告** 別紙をご覧ください。

**委員会報告** 2017-2018年度地区補助金申請について

#### PETS 出席報告

立石 誠会長エレクト

PETS 研修では①クラブのサポートと強化②人道的  
 奉仕の増加③公共イメージの認知度向上④緑化促進  
 の4つの基本計画が提示され、これに沿って分科会で  
 議論しました。

次年度地区補助金計画は「さくらの街に準じた植栽  
 をしたい」と考え、市から桜の木を10本から譲り受  
 け、つつじを20本購入し植栽する計画としました。  
 場所はナイスロード沿いの浄化センター先300m 辺り  
 とし、市の許可や予算も立て終わりました。是非ご協  
 力をお願いします。

**出席報告** 会員数57名 内出席免除18名  
 長欠1名 出席者27名 事前ミーキャップ3名  
 出席率66.67% 前々回68.01%変更なし。

#### ニコニコボックス

藤澤秀敬・平澤泰斗 3/12のI.M. 参加お疲れ様でした。

平出さん発表ご苦労様でした。

藤澤秀敬・平澤泰斗 伊那西高等学校校長出野憲司様  
 卓話を宜しくをお願いします。

中山一郎 出野先生ようこそ。卓話が楽しみです。  
長女がお世話になりました。

坂井清彦 出野先生に娘がお世話になりました。  
先生は昔のままです。

荒木康雄 出野憲司校長先生の卓話を歓迎致します。

荒木康雄 「いなっせ6階ホール」の命名権ネーミングライセンスを得る事にしました。名前は「ニシザワいなっせホール」です。ご利用ください。

小林旬子 19日娘が男の子を出産しました。孫の子守が益々忙しくなります。

立石 誠 3/18、19 PETSに出席して来ました。

大石ひとみ 長野朝日放送、SBCラジオと取り上げて頂く機会がありました。ありがたいことです。

登内五昭 兄英夫葬儀お別れの会では皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

**卓話** 伊那西高等学校校長 出野憲司様

演題「残したい方言」

(紹介者 荒木康雄情報・プログラム委員長)

上田市ご出身で現在岡谷市在住の「方言研究者」でもあります。1963年生まれで国学院大学文学部卒業後、東京都立大学大学院の修士課程を卒業。伊那西高等学校教頭を経て、2012年より学校長を務めておられます。2010年刊行「長野県方言辞典」の編集委員長のほか著書は多数、現在信毎「広場」の面に各週連載されている先生のコラム「残したい方言」は人気を博しており、単行本にもなっています。



先ほどご紹介のとおり、2010年の長野県方言辞典の編集がご縁で始まった信毎連載のコラム「残したい方言」もすでに170

回を数え、単行本も刊行となりました。伊那RCの事務局にも2冊寄贈させていただきます。

さて、方言には色々な区分けの仕方があります。ひとつの日本語として、地域による違いだけではなく、世代による違い、社会集団による違いによっても「方言」の扱いをしますが、ここでは地域による違いから生じた方言についてお話をいたします。

現代日本語方言は大きく本土と琉球に分かれており、本土方言も本州東部、本州西部、九州に分かれます。長野県は本州東部方言の中の「ナヤシ方言」と区画されています。これは日本語学者の都竹通年雄さんが主に語法(文法)を観念に区

画したもので、「ナヤシ」とは長野、山梨、静岡の頭文字を取ったもの、同じく本州西部方言の「ギア方言」は岐阜、愛知の頭文字を取ったものです。大きく言うと長野県は本州東部方言に属しますが、伊那谷から下伊那は岐阜、愛知の関わりも深く、本州西部方言の影響も受けている地域とも言えます。

実際昭和50年代に発行された長野県史を見ても、「居る」は上伊那辺りを境目として北は「居る(東部方言)」南は「おる(西部方言)」、「見ない」は木曾、塩尻、上伊那辺りを境目として、北は「見ない、見ねえ(東部方言)」南は「見ん(西部方言)」と区画されています。境界については、牛山初男先生が1969年「東西方言の境界」等で初めて発表して物議を醸しましたが、こうして昭和50年代の調査結果を見ても、今の暮らしを見ても実感として感じられるのではないかと思います。

また「ずく」とか「ごしたい」「もうらしい」など伝統的方言のほか、「方言との意識がない方言(気付かない方言)」もあります。例えば「洗濯物をよせる」とか「お風呂にしずもうか」「車のうらに乗る」「おしずかに」「机をつる」「へら」など、自分自身が方言であることを知らずに使う場合がこれに当たります。同様に、アクセントでも地域によって異なるもの(「半袖」「織る、折る」など)がありますし、「しあさって」「やのあさって」のように地域によって意味自体が変わるものもあり、方言の面白さを示しているとも言えます。

もう一つ面白い例を挙げますと、本州東部では1950年代「梅雨」を「入梅」と言っていました。入梅という言葉が梅雨入りを連想させることもあり、今では当時の本州西部方言「梅雨」が共通語となっています。同様に当時関東圏で使っていた「でかい」より本州西部方言「大きい」の方が品があったのか、いつの間にか「大きい」が共通語となっています。

なお、最後に「こんな方言もある」と言う事例を挙げます。山ノ内町にある妻の実家では「火の氣のないこたつ」のことを「芝居のこたつ」と言います。これは身内だけで使っているのかと思っていました。実際に中野市から山ノ内町一帯で使われている方言であることがわかりました。また「ぬるい炬燵は満照寺」の由来をコラムに掲載したところ、読者からこんな例もあると「蕃松院のひえごたつ」の由来を教えてくださいました。これらの表現も方言のひとつではないかと感じています。